

7. 靈的アイデンティティーの危機を避ける

エペソ人への手紙 1 章 4 節

すなわち、神は私たちが世界の基の置かれる前から彼にあって選び、御前で聖く、傷のない者にしようとされました。

神様ご自身が個人的に私たちが神様の子どもとして選んでくださったことを知る時、私たちは正しいアイデンティティーを持つことができます。

人は誰でも自分は何者なのか、自分の価値はどこにあるのかと、絶えず思い巡らしています。私は何者であり、私が今ここにいる理由、私が向かっている場所が分かれば、浅い愛や壊れた人間関係に苦しむことはないでしょう。しかし、残念ながら多くの人々はそれらを知らずに生き、死んでいくのです。神様は人を神様のかたちに似せ、永遠の交わりを楽しむ為に最初の人をお造りになりました。しかし、アダムとエバが神様に従わず、その目的は壊れ、すべての人が罪の中に入れられました。その結果私たちの心には大きな穴が空き、正しいアイデンティティーは損なわれてしまったのです。人は何かでその穴を埋めようとしますが、結局死と絶望と悲しい諦めによってすべてが失われてしまいます。

私たちクリスチャンは、この世界が創られる前に神様が個人的に子どもとして選んでくださり、神様が私たちを愛し、キリストが私の為に死んで下さったことを知っています。

キリストは、世の始まる前から知られていましたが、この終わりの時に、あなたがたのために、現れてくださいました。(1ペテロ1：20)

ですから、私たちは信仰によって福音に応答し、救いを失うことがないのです。神様が私たちを神様の中に置き、安全に抱きしめてくださっています。

主に愛されている兄弟たち。神は、御霊による聖めと、真理による信仰によって、あなたがたを、初めから救いにお選びになったからです。(IIテサ2：13) わたしに彼らをお与えになった父は、すべてにまさって偉大です。だれもわたしの父の御手から彼らを奪い去ることはできません。(ヨハネ10：29)

罪やサタン、あらゆる事柄によってキリストにあるアイデンティティーをなくさず、私たちの思いと歩みすべてを確かなものとしましょう。私は何者か—神様の子どもであり、私の存在理由は—神様に仕え栄光をささげることであり、私たちが向かっている場所は—神様と永遠に過ごす天国です。

お祈り：天のお父さん、私たちを選び、救いの信仰によって子として下さり、みもとに導いてくださったことを感謝します。神様は私たちを絶対離さないという約束をありがとうございます。主の御名によって、アーメン。

